

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。



《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

新役職者・新入職医師紹介

新役職者



師長室
総看護師長
金城悦子
きんじょうえつこ

総看護師長として、管理の難しさ・厳しさを身にしみて思う毎日です。躰き転ばぬよう多くの方に支えられて一歩一歩、ひとつひとつ業務をこなしています。

『やわらかなまっすぐ』という好きな言葉があります。相手に合わせて大きくなったり、小さくなったり、いろんな形に変わったりしながら、まっすぐになって進んでいくという意味です。やわらかなまっすぐの心と姿勢で仕事に向き合っていくように努めます。



師長室
副総看護師長
御手洗保子
みらいやすこ

荷川取前総看護師長の退職に伴い4月6日から副総看護師長として師長室勤務になりました。これまで、一般外科や心臓外科、集中治療室・総合内科・脳外科等、いろいろな部署で看護業務に関わる事ができました。臨床から離れ、師長室への異動は想像もしていなかったのですがこれまでの経験を活かし、金城総看護師長・玉城副総看護師長と3人で力を合わせ管理運営に関わって行きたいと思っています。

新体制で頑張りますので宜しくお願いします。



5階病棟師長
保村育子
やすむらいこ

四月六日より五階病棟の師長になりました。保村育子(やすむらいこ)と申します。見慣れない苗字ですが沖縄生まれの沖縄育ちです。沖縄協同病院に就職し二十一年、前任の御手洗師長に日々指導して頂き、様々な研修を重ね今日を迎えました。まだまだ未熟な私ですが、患者様により沿った看護ができるよう五階病棟スタッフと力を合わせ、雑草のように根強く頑張っていきたいと思っています。よろしくお祈りいたします。

新入職医師



小児科
酒井一徳
さかいかずのり

はじめまして。本年度より沖縄協同病院に赴任いたしました酒井一徳(さかいかずのり)と申します。出身は福岡県ですが、大学が琉球大学であり、これまで十一年間を沖縄で過ごしてまいりました。専門はアレルギーで、昨年度までの三年間愛知県のごも病院でアレルギー研修を行ってまいりました。これから主に食物アレルギーをもつ子ども達、不安を抱えたご両親の為に働きたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



脳卒中内科
金城よしの
きんじょうよし

今年四月から沖縄協同病院で医師として勤務します。金城よしの(きんじょうよし)と申します。七年前に当院で初期研修を終えたあと、琉球大学付属病院、川崎医科大学付属病院、東京慈恵医科大学付属病院、日本医科大学脳卒中内科付属病院で神経内科・脳血管内科を学んでまいりました。脳卒中の急性期医療を中心に、地域の方々の力になれるよう努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



小児科
金城勤也
きんじょうきんや

平成二年に長崎大学入学。その後、二十数年長崎で過ごしてまいりました。そろそろいい年齢になってきたので、『故郷の沖縄で一花咲かせよう』(笑)と思



放射線科
玉城由佳理
たましろゆかり

放射線科の玉城由佳理(たましろゆかり)と申します。長崎大学を卒業後、初期研修まで長崎で行い、去年放射線科医の卵として沖縄に帰ってきました。昨年度は琉球大学で専門研修を行い、四月より沖縄協同病院でお世話になることになりました。患者さんと直接お会いする機会が少ないですが、日々の診療に役立てるよう努力して参りますので、よろしくお祈り致します。



内科
石井隆弘
いしいたかひろ

内科の石井隆弘(いしいたかひろ)と申します。2006年に当院で初期研修を開始し、その後2014年3月まで総合内科に勤務しておりました。一度沖縄の地を離れ、県立静岡がんセンター感染症内科に勤務し、主に外科術後や免疫不全の感染症について勉強しておりました。このたび3年ぶりに沖縄協同病院の総合内科でお世話になります。総合診療、感染症診療、感染対策を中心に、患者様のお役に立てれば幸いです。どうぞよろしくお祈り致します。



救急集中治療医
長間将樹
ながままさき

約10年ぶりに沖縄協同病院に帰ってきました。救急集中治療医の長間将樹(ながままさき)と申します。当院での初期研修終了後、北海道の市立札幌病院救命救急センターにて勤務し、3次救急対応、ICU・HCU患者の治療・管理、ドクターカーやヘリ同乗などの業務を行ってまいりました。当院の救急集中治療部が発足し、その一員として、これまでの経験を活かし、皆様や患者様、地域の医療のためにお役に立てるよう、頑張ってお祈り致します。

病院の活動状況 <2017年3月度>

- ・外来一日平均患者数：472 (前年同月比 -48人)
- ・入院一日平均患者数：309 (前年同月比 +1人)
- ・組合員利用率：54.8% (前年同月比 +0.1%)

新入職員歓迎セレモニー



去る4月10日に、沖縄協同病院の新入職員歓迎セレモニーが行われました。

今年度は、研修医7人、看護部23人、薬局3人、検査室3人、リハビリ室2人、栄養管理室2人、医事課1人、総務課1人の計42人が、新しく沖縄協同病院の仲間として入社しました。

私も新入職員として参加し、先輩方からの温かい歓迎の言葉と職員の生演奏による歌のプレゼントで迎えてもらいました。私は3年間臨時職員として働いていたため、既に面識のある先輩方も多く、入場時には緊張よりも照れくささがありました。

今年度より正職員として働く事ができる喜びを胸に、より一層の責任感を持ち日々の業務に取り組み、沖縄協同病院の全職員がより良い医療活動を行えるよう、安心して働ける環境づくりを目指します。2017年度新入職員にどうぞご期待ください!

総務部 高橋 敦忠



〈ご意見〉

糖尿のインスリンの針・チップ、個人で買うには高すぎる、少なくなって困っています。低血糖の時、インスリンを打つとどうなりますか? 考えてほしいです。病院は何のためにあるんですか? 病気が良くなるようにするんですか? それでは通院しても意味なし、糖尿患者はどうなるんですか。

〈ご回答〉

病院では、保険診療と自費診療との区分分けがされております。治療、検査、処方などは保険診療内で行うことが出来ません。又、予防接種や健診、薬剤の一部で自費診療でしか出来ない部分もあります。

さて、投書の自己血糖測定の針とチップの件ですが、保険診療での処方ですので、保険診療内での処方しかお渡しすることが出来ません。各個人でそれ以外に測定したい場合は、自費診療の部分になりますので、個人購入となります。

当院でも、保険診療内での取り決めを守っていかねばなりませんので、患者様各位のご理解をお願い致します。針、チップの処方に関しては、保険診療内で患者様の負担がかからないよう計算しての個数となっていること、測定の針の変更も行ってまいります。測定方法も診察、及び療養指導外来の中で指導は行ってまいりますので、不明な点がございましたら、看護師まで声掛けをお願い致します。

外来師長 中村 光江

第3回 沖縄医療生協子ども健康まつり

3月20日(月・祝)、豊見城市民体育館にて第3回子ども健康まつりを開催し、約3,000名の来場者がありました。

舞台の部では琉神マブヤーショー、大道芸人けんぢによるパフォーマンス、ダンススタジオAIR HEADSの子どもたちによるキッズダンスが行われ会場全体を盛り上げてくれました。

1階フロアでは、体力測定、健康チェック、歯の健康チェック、医療・食の相談コーナーを設け、2階サブアリーナでは小児科の尾辻先生を講師に「食物アレルギーについて」の健康講演会を開催、組合員コーナーでは布ぞうりづくり、紙芝居、わらべ歌、小物づくり、シーサー作り、折紙、カーリンコン、野菜バザーがあり、多くの保護者や子どもが楽しむ事ができました。

まつりを開催するあたり、前日の会場設営、当日要員で参加した職員のみなさん、また体験コーナーを運営して頂いた組合員のみなさん、本当にありがとうございました。

事務管理部 田里 雅樹



照れちゃって、やんちゃな君も一年生



画・内科医 上原 和博

かむ力が弱い方にもおすすめ!

食物繊維たっぷりの

ブロッコリーの豆腐ソースグラタン

材料(2人分)

- ブロッコリー 大1/2個 (125g)
- 塩 小さじ1/2
- もめん豆腐 100g
- マヨネーズ 大さじ1.5
- みそ・小麦粉 各大さじ1/2
- ピザ用チーズ 25g



作り方

- ブロッコリーは小房に分け、茎ごと1×1×5cmの棒状に切る。鍋に湯を沸かし、塩とブロッコリーを入れて5分ほど下ゆでしてざるにあげ、湯をきる。
- 豆腐はスプーンでつぶして練り混ぜ、aを加えてさらによく混ぜる。
- 耐熱皿に①を入れて②をかけ、チーズを散らす。オーブントースター(900ワット)で約10分、チーズに焼き色がつくまで焼く。

1人分: 182キロカロリー
食物繊維: 3.3g

便秘の種類

しんかん性便秘

太めで硬い便/お腹が張る/頭痛、食欲不振など

予防と対策

- 腸に適度な刺激を与える
- 散歩などで運動不足を改善する
- 生活リズムを整える
- 食物繊維の豊富な食材(野菜、海藻、きのこなど)を毎日摂るようにする
- 水分を十分にとる
- お腹を円を描くようにマッサージする

けいれん性便秘

コロコロ便が少量/排便時に腹痛がある/便秘、下痢を繰り返す

予防と対策

- 腸への刺激を抑える
- ストレス解消を心がける
- 十分な睡眠をとる
- 油の多いもの、香辛料、アルコールが過剰にならないように
- 濃い味付け、炭酸飲料、カフェイン飲料(コーヒー等)は控える
- 揚げ物など油の多い食品を控える
- 激しい運動は控える

直腸性便秘

太く短い(分割)便

予防と対策

- トイレに行くこと(便意)を我慢せず、便意がなくてもトイレに行くようにする。

この動きが滞り、3日以上便が出ないまたは、硬くて出にくいなどの症状を一般的に便秘といえます。

栄養管理室だより⑦ シークワーサー

便秘について

口から入った食物は小腸で栄養素の吸収が行われ、大腸に送られて便として体外に排出されます。

